

# スポーツ 川越

発行 川越市体育協会



## 川越市体育協会 明日に向かって

川越市体育協会理事長

村 田 泰 次

戦後、昭和二十三年二月五日に発足した伝統ある体育協会も、昨年一月創立五十周年記念式典も終わり、新しい時代に向かっての第一歩を踏み出しました。

近年、科学技術の進歩により、都市化、生活の利便化に伴い、運動不足やストレス要因の増加が見られ、心身の健康の保持増進の観点から、生涯の各時期に応じたスポーツライフの条件整備が、重要な課題として指摘されております。

変動の激しい時代の流れに沿って、本市ローカル体協としてどう対処するか、二十一世紀に活躍発展を目指す体育協会の再構築に取り組むことが、避けて通ることができない問題と考えております。

スポーツライフの条件整備に当たっては、各競技団体の競技の特性を生かしつつ、ルール等の簡易化を工夫し、気軽に取り組めるスポーツ実践により、仲間と共に活動する楽しさを味わわせ、精神的な満足を満たすための取り組み等が考えられると思います。

この実現のためには、行政との関わりを密にして、体育協会の三つの基本方針（組織の拡充強化・スポーツ指導者の養成・体育施設の整備及び拡充）の観点の上に立って具現化を図ることが必要であり、飛躍の条件であると考えます。

これが先人の営々と築かれた伝統ある川越市体育協会を、大きく変動する時代に対応できる体制作りに繋がるものと思います。

そこで、各連盟理事皆様全員のご理解を得ながら、各自理念の上に立つて役目を考え、スポーツ関係の統括団体として、できることは早目に実行に移し、大きな問題については各種会議を重ね、会員の意識の改革と高揚を図りながら、より良い方法を模索していきたいと思います。

終わりに、川越市体育協会明日への発展のために理事全員のご協力をお願い申し上げます。



### 委員会活動紹介

川越市体育協会は、昨年、創立五十周年を迎えました。これを節目として、誇りある伝統をより一層輝かしいものに継承するために、三委員会では、今までの課題をもとに今後の活動の方向について話し合いを持ちました。

各委員会の活動についてご紹介いたします。



組織委員会 委員長 大谷武史

組織委員会が現在取り組んでいる課題は、昨年九月に理事の皆様よりご提出いただきました体育協会に対するアンケートのまとめです。多くの皆様より積極的な貴重なご意見を伺うことができました。ここに心から感謝申し上げます。

ご意見の中には、具体的にすぐ実施できるものから、具現化には難しい大きな問題まで様々でした。

建設的なご意見に対しては組織委員会のもとより各委員会等において真剣に議論していただくべく集約が終わり次第資料提供していきたいと思えます。提言・要望等のご意見につきましても記念誌

「継承から創造へ」の視点に立ち、いくつかの分野に分け各部署にて議論していただければと考えております。

例えば総務的なものとしては、

全体の構成、会議、活動、行政面等に分割し組織委員会、指導委員会が担当し、具体的な「スポーツ川越」の発行回数、掲載内容等については、広報委員会が担当しそれぞれの立場で検討していく。

いずれにしても今後はこれらの諸問題について十分に議論していかなければなりません。それには暇と時間を要します。会員皆様のご理解、ご協力がより以上に必要になることと思えます。これは二十一世紀に向けてこれからの時代に対応していく組織には欠くことのできない重要なことだと信じます。

組織委員会としては全体的見地より皆様方のご意見を尊重し、より理解しながら市民スポーツの競技力の向上、普及に貢献し得る体育協会の組織作り而努力して参りたいと存じます。

今後とも皆様方のご指導、ご協力を心からお願い申し上げます。

上げ現況報告いたします。



指導委員会 副委員長 須賀郁子



指導委員会の主な事業は、「川越市スポーツ指導者養成講習会」と

「スポーツ講演会」です。今、大きく変動する時代の流れの中で、スポーツに対する市民の意識に変化が起きています。

これまでのスポーツといえば、競技中心で記録や勝負の追求が課題でした。しかし、高齢化、都市化が急速に進む現在、健康志向とともに、「誰もが手軽に参加できる楽しいスポーツ」へ、市民の関心が向けられ始めました。

このニーズに応えたのが、先の「川越市スポーツ指導者養成講習会」です。市体育協会加盟団体、スポーツ少年団の指導者、市体育指導委員を対象に、平成五年よりすでに六回、毎回百名弱の参加者が励んでおります。内容は、スポーツ生理学、スポーツ医学、スポーツ心理学、スポーツ指導論、社会体育概論、実技(テーピング、ストレッチ、ウォーキング)等、全部で四十単位(一単位一時間三十分)。一年間に四単位で、十年で終了というカリキュラムです。

そして、「スポーツ講演会」では、直接講師の人格に触れます。第一回は、体操の小野喬氏の「ス

ポーツ指導者の望ましいあり方」。今年度は、森末慎二氏の「あくなき挑戦」。ともに感銘深いものでした。

指導委員会の今後の課題は、「川越市スポーツ指導者登録制度」の内容の充実です。

まず、名簿の加除訂正をして、人格的にも資質の高い指導者の確保を図ります。そのうえで、新しいスポーツの開発、市民がスポーツに参加する際の手助け、中学校の部活動の顧問の先生のアシスタント等々、指導者としての活躍が期待されます。

広報委員会 委員長 岡野安夫



広報委員会では、関口会長が常々話している次の点を真剣に受け止めて活動を行っています。

「体育協会創立五十一年目を迎え、多くの先輩が築き上げた誇りある川越市体育協会の伝統を、より一層輝かしいものに継承していかなければならぬ。伝統の継承とは、先人の残した成果を踏襲するだけでなく、新しい何かを創造することによって、さらなる発展を遂げることではないか。」

本委員会では、特に、この「新しい何かを創造する」に視点を当

てて、本年度は次のような編集方針を立てて、「スポーツ川越」を発行することにしました。

一、判型について  
従来のB5判からA4判に替えました。これは、活字を大きくして読みやすくし、所々にカットも入れて親しみの持てる紙面づくりを目指したものです。

二、内容について  
恒例の内容に加えて、特集記事を入れ、動きのある内容にしました。ちなみに、今回の特集記事は平成十六年度に開催される埼玉国体を取り上げました。

今後は、できれば、体育協会加盟の各団体から一名ずつでも情報モニターを選出していただき、話題性があり、読者の心を引きつける情報を寄せていただけたらと考えています。

三、配布について  
広報誌「スポーツ川越」発行のねらいは、多くの市民の方々にスポーツに関する様々な情報を伝える、生涯スポーツに関心を持っていただくことにあります。そのため、今後発行部数を増やす方向で考えています。

以上、「スポーツ川越」の改善を中心に、広報委員会の活動状況を報告しました。



# 特集「平成16年国体開催」

## 川越市準備委員会設立

国民体育大会は、昭和二十一年秋、京都を中心に第一回大会が開催され、埼玉県では第二十二回大会（昭和四十二年）が開催されていますが、五年後の平成十六年には第五十九回大会が埼玉県で実に三十七年ぶりに開催されます。

国体には、冬、夏、秋の三つの大会があり、川越市では夏季大会でゴルフ（成年男子・少年男子）、秋季大会でサッカー（成年男子）、



設立総会

バレーボール（少年女子）、高等学校野球（軟式）が開催されます。このほど市では、体育関係者を始めとする各種機関・団体の参加のもと、舟橋市長を会長とする「第五十九回国民体育大会川越市準備委員会」を設立いたしました。

準備委員会では、埼玉県国体の開催を契機に、市民の皆様が生涯にわたって親しむことのできるスポーツの振興と個性豊かな文化の創造を目指し、国体の準備を推進していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

季別	種目	種別	競技会場
夏大会	ゴルフ	成年男子	関一ヶツリ部
		少年男子	霞ヶカ倶楽
秋大会	バレーボール	少年女子	川越運動公園
	サッカー	成年男子	川越運動公園
		軟式	川越運動公園
	高校野球	軟式	川越運動公園



## スポーツ振興計画

市では、昭和五十八年度に川越市総合計画を策定し、以来この計画の中で生涯スポーツの推進のための諸施策を実施してきました。

平成八年、二十一世紀に向けて、真にゆとりと豊かさを実感できる平和で快適な都市をめざし、住み良い魅力溢れるまちづくりを進めることを基本とした総合的、計画的なまちづくりの指針として「第二次川越市総合計画」を策定しました。

また、「川越市生涯学習基本構想・基本計画」も今年度、策定しました。

これらの計画を受け、国や県の動向を踏まえ、これまでに達成された成果と課題を生かし、二十一世紀における豊かな市民生活の中で、生涯スポーツを推進するために諸施策を総合的かつ計画的に進める「生涯スポーツ振興計画」を新たに策定することになりました。準備については、市民意識調査を行うとともに、川越市スポーツ振興審議会にて「生涯スポーツ振興計画」の策定についてご協いいただき、川越市生涯スポーツ振興計画策定委員会設置要綱を作成しました。

策定委員会の構成は、スポーツ、社会教育団体等の代表者、教育、行政機関等の職員、学識経験者の二十五名で組織されています。委員長には、関口体育協会会長が就任し、調査研究を行う専門部会として、総合施策部会と施設部会が設置されました。



策定委員会

平成十年十二月に、第一回策定委員会が開催され、大久原教育長より委員一人一人に委嘱書が手渡されました。

その折、埼玉県教育庁体育課の田村和夫先生を講師にお招きして、平成十年度に策定予定の埼玉県スポーツ振興計画「彩の国スポーツプラン2010」について講演いただきました。振興計画について共通の理解を深めることができました。平成十一年一月には、第二回の



講演「県スポーツ振興計画」

策定委員会が開催されました。ここで、第一回の専門部会が開かれ、委員の方々からそれぞれの立場から活発なご意見が出されました。今後、それらのご意見をもとに検討を重ね、平成十一年度には骨子を作成していく予定です。





# 第五十一回市民体育祭

平成十年度第五十一回市民体育祭は、八月九日の野球と陸上を幕開けに、二月二十八日のスキーをもって全二十九種目が終了しました。

### ■総合開会式

九月十五日(祝)、総合体育館を会場に、スポーツ少年団の体育祭といっしょに開催されました。

三十団体・四三九名の力強い入場行進が行われました。

大久原教育長の開会宣言、舟橋市長のあいさつの後、ホスト団体のソフトボール協会代表による選手宣誓が行われました。

デモンストレーション種目として、リレーが行われました。バトンには各団体の特徴を表す用具が用いられ、笑顔あふれるレースとなりました。

### ■市民体育祭

今年度の市民体育祭参加者数は、二二、九八一名で、昨年度よりも千二百名の減少となりました。

多くの競技は九月十月にかけて開催され、熱戦が繰り広げられました。

その中から、いくつかの競技風景をご紹介します。



弓道

## 第51回市民体育祭参加者

	参加者					合計
	少年少女	青年	婦人	壮年	その他	
野 球	0	青年・壮年	260	0	260	
卓 球	0	85	117	35	15	252
ソフトテニス	40	32	82	27	1	182
バレーボール	67	180	913	65	0	1225
バスケットボール	515	630	30	18	0	1193
サッカー	759	352	11	0	0	1122
柔 道	380	85	0	45	0	510
剣 道	106	38	24	10	0	178
弓 道	0	30	40	53	14	137
空 手 道	70	41	6	30	2	149
陸上競技	510	26	1	7	0	544
水泳競技	1070	126	95	78	7	1376
ス キ ー	21	69	18	43	0	151
ク レ ー	0	4	0	36	14	54
ライフル	0	0	1	15	2	18
スケート	34	4	0	5	0	43
体 操	292	0	0	0	0	292
小 体 連	876	0	0	0	0	876
中 体 連	5850	0	0	0	0	5850
高 体 連	2112	0	0	0	0	2112
レクリエーション	27	12	578	103	137	857
バドミントン	0	46	64	38	0	148
少林寺拳法	128	50	0	12	0	190
ソフトボール	0	116	274	2876	431	3697
テ ニ ス	1	480	250	64	17	812
ボウリング	0	5	22	13	7	47
なぎなた	14	1	20	1	18	54
ラグビー	274	42	0	42	4	362
ゲートボール	0	0	0	0	290	290
合 計	13146	2454	2546	3876	959	22981

備考 少年少女=小・中・高校生 青年=30歳未満  
 壮 年=30歳以上60歳 その他=61歳以上



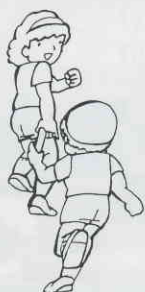
バドミントン



レク(ペタンク)



小学校陸上(リレー)



川鶴地区

■町内体育祭  
 スポーツの秋、九月から十一月にかけて、各地区で小・中学校を会場に実施されました。  
 ・実施自治会 一七五自治会  
 ・会場数 二十三会場  
 ・参加者数 二九、三六〇名



スキー

# スポーツ講演会

森末 慎二氏

二月十四日、川越市市民会館やまぶき会館において、スポーツ講演会が開催されました。

講師には、ロス五輪において体操競技の鉄棒で金メダルを獲得され、現在はテレビやラジオ出演を始め執筆活動、音楽活動等幅広い分野で活躍されている森末慎二氏をお迎えし、「あくなき挑戦」という演題でお話をいただきました。講演の一部をご紹介します。



私が体操に関心を持ったのは小学校三年生の時に、テレビで体操競技の世界選手権を見てからです。しかし、当時は体操クラブもなく、専ら校庭の砂場にある鉄棒でグルグル回っていました。本格的に体操を始めたのは関西高校に入学してからです。日々練習に明け暮れ、この時期に体操の基礎を築きました。その後、日本体育大学に進みましたが、一年生の時は軍隊のような寮生活が辛く偽りの理由を設け郷里に避難したこともあります。二年生からは体操競技部の合宿所に入り、生活の厳しさからも解放され、インカレで好成績を収めるようになりました。しかし、二年



森末氏

生の終盤スランプに陥り、「怪我をすれば休めるんだ。」とまで考えていました。そんな気持ちで臨んだ合宿でアキレス腱を切つてしまいました(思い通り)。そして手術後の痛みも遠のきこれから二ヶ月間は楽しい入院生活が送れると喜んでいた矢先、一年先輩の具志堅さんがやはりアキレス腱を切りました。真面目な彼は手術後五日目からベッドの上で自転車のチューブを使い上半身のトレーニングを始めたのです。その上、私にもそのチューブを貸してくれました。これでは私もやらざるを得ません。しかし嫌々始めたものの次第にお

もしろくなり、退院するまでにトレーニングを続けた結果、上半身に八キロの筋肉が付きました。と同時に意欲も湧き、いろいろな技に挑戦するようになり、社会人二年目には全日本選手権個人総合二位を得、ナショナルチームのメンバーとして国際試合に出場するようになりました。そして夢のオリンピック参加です。但し、夢の実現には具志堅さんにも感謝しなければいけません。

鉄棒を始めた頃からの夢だったオリンピックですが、その緊張感たるや想像を絶するものでした。演技当日は起床時から筋肉もパワーも全開という興奮状態でした。そして試合会場に足を一歩踏み入れた瞬間涙がダブッと溢れ「オリンピックに来たぞ。」という実感とともに体が1m浮き上がったような感覚でした。緊張のまま臨んだ規定演技の跳馬で初めての高得点をとり益々緊張感が高まり、得意な平行棒で落下してしまいました。だが、それで緊張がほぐれ、鉄棒では十点をとることができました。

一日おいた自由演技は大きな失敗もなく、鉄棒ではまた十点をと

り、トップの成績で四日後の種目別演技に臨む事になりました。しかし、急に三十九度の発熱と食欲不振に見舞われ、最悪の体調で種目別演技の日を迎えました。それでも開き直った気持ちで一つ一つ技を確認しながら演技し、ピタッと着地できた瞬間、「やっつた！終わった！」と安堵しました。そして結果は十点、金メダル獲得です。引き続きとり行われた表彰式ではこれは自分のためのものなんだという思いで日の丸を見つめ君が代を聞きました。いつの間にか熱も下がり、空腹感を覚えました。あの発熱と食欲不振は、世界のトップに立っていることによるプレッシャーのせいだったのです。こうして、子どもの頃からの夢が二十七歳で叶えられました。これからも大きな夢を持ち続けて生きたいと思っています。

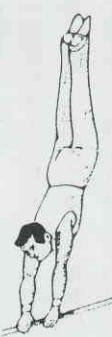
紙面では、森末氏の巧みな語り口をお伝えできないのが残念です。

## スポーツ指導者養成講習会

第六回川越市スポーツ指導者養成講習会が、川越市教育委員会、川越市体育協会の共催により九月二十一日、二十九日、十月五日、

十二日の四日間、北公民館を会場に実施されました。昨年に引き続き「指導技術の向上を目指して」をテーマに掲げ募集致しましたところ前を上回る九十二名の参加を見るに至り盛況のうちに開催されました。

第一日目は康正会病院長小原康史先生の「スポーツ医学」スポーツマッサーの講演、二日目は東洋大学教授穂田清先生による実技「ストレッチ体操」於市民体育館、三日目は東京家政短期大学講師吉田博幸先生の「スポーツ生理学」運動に必要な燃料、回復過程に関する講話、四日目は日高市立高萩北小学校教頭伊藤明先生による「スポーツ概論」生涯スポーツ振興の現状と課題の内容による講義で各先生方の貴重な体験と卓越する話術に参加者一同終始熱心に聞き入り第一線に携わっている私たちが致しまして非常に得る所が多くあるかと思えます。それは、競技団体に指導者の活用が進んでいる団体を見習い、指導者組織の末端までのパイプをもっと太く連携を密にする事です。それぞれの役割を持つ公認スポーツ指導者が自ら進んでフロンティア精神を発揮し得るならば活用の問題も自ずと解決するのではなからうかと確信しています。





# 体育功労者・優秀選手 表彰式

二月十四日、川越市市民会館や

まぶき会館において、平成十年度川越市体育功労者並びに優秀選手表彰式が盛大に開催されました。

「体育功労者」は、多年にわたり本市体育・スポーツの指導に著しい功績をあげ、スポーツ団体の発展に努力された方に対し、舟橋功一川越市長より、表彰されました。

続いて、郷土の代表として、全国大会等に出場し、好成績をおさめた選手等に対して、「優秀選手賞」が大久原教育長、関口体育協会長より手渡されました。



舟橋市長から表彰される体育功労者

## 【体育功労者】

名誉ある体育功労者の方々は五名です。(敬称略)

小内芳子

川越市バレーボール連盟

荻田芳信

川越市剣道連盟

藤田貴訓

川越市小学校体育連盟

影山 一

川越市高等学校体育連盟

郷田秀利

川越市ゲートボール連合会

## 【特別表彰】

今年度は、特別表彰として、フルマソン百回完走という偉業を成し遂げた蓬田さんに対し、舟橋川越市長より授与されました。

蓬田和子

川越市陸上競技協会

フルマソン百回完走



蓬田さん

## 【優秀選手】

平成九年十一月一日から平成十年十月三十一日までの一年間に、全国大会、関東大会等に出場し、郷土川越の名誉を担い活躍された優秀選手二九一名が表彰されました。

## 市民スキー講習会

第四十九回市民スキー講習会が平成十一年一月二十八日～三十一日、山形県蔵王温泉スキー場を会場に六十三名の参加者とスキー連盟の講師・役員により開催されました。

期間中、近年にない好天に恵まれ、講習も十分実施でき、アフタースキーも楽しめ、参加者から大好評でした。来年は、いよいよ五十回の節目となります。



講習風景

# 川越市スポーツ教室

今年度のスポーツ教室は、ミニテニス、ゴルフ、女性バドミントンが新たに加わり、合計六七四名の参加者が熱心に受講されました。



ジュニアスイミング教室

なかでも、市民ニーズとともに国体開催に向けて市民意識の向上をめざしてスタートした一般ゴルフ教室やスキー・スケートのウインタースポーツへの参加者が多くみられました。

平成十一年度は、ジュニア対象種目にもゴルフ教室を、また、いくつものニュースポーツを体験できる教室を開催できるよう教育委員会準備を進めています。



### 【一般対象種目】

No.	教室名	開催時期	参加者	会場
1	卓球	4月～6月	34名	市民体育館
2	テニス	7月～9月	50名	運動公園テニスコート
3	ミニテニス	6月～8月	29名	市民体育館
4	太極拳	9月～10月	30名	市民体育館
5	ゴルフ	9月～11月	58名	プロスパー

### 【女性対象種目】

6	バドミントン	4月～6月	27名	市民体育館
7	ソフトテニス	5月～6月	19名	城下テニスコート
8	ボウリング	6月	42名	川越ファミリーレーン
9	スイミング	7月	36名	川越スイミングスクール

### 【ジュニア対象種目】

10	バレーボール	8月	36名	市民体育館
11	スイミング	8月	23名	川越小学校プール
12	スキー	3月	85名	草津国際スキー場

### 【ジュニア・一般対象種目】

13	スケート	1期 11月	71名	東武スケートセンター
14		2期 1月	58名	
15		3期 2月	76名	

# 第17回 川越ウォークソン大会

11月3日、文化の日、「第17回川越ウォークソン大会」は、川越運動公園陸上競技場をスタート、ゴールとし、県内外一、八七四名の参加者を得て開催されました。今大会は、従来行われていた競技の部を廃止し、「健康ウォーク」の性格を、昨年に増して前面に掲



写真コンテスト最優秀作品「ウォークソンは楽しいな」(小川幸義さん撮影)

げました。そして、健康につながるウォークとして、「正しく・美しく・速く」という本大会の基本テーマも忘れずに、川越としての特色を生かしながら実施いたしました。

参加者数が、ここ数年、減少もしくは、横ばいの状態が続いているのが現状です。今後は、「健康ウォーク」の趣旨のPRに努めるとともに、基本テーマとの調和をどう図るか、そして、どの種目にスポットを当てて参加を促していくか、更に、参加者の方々により楽しく歩いていただくための内容をどのように工夫するのか、などを課題として、新しい方向を見出し、行ってみたいと思います。

## 大会各種目の結果

### ■最優秀スタイル賞受賞者

(一般20km) 遊馬健一(一般10km 男) 鈴木光男(一般10km 女) 長手雅子(一般5km 59才以下男) 山田光朗(一般5km 59才以下女) 松本初枝(一般5km 60才以上男) 西山数明(一般5km 60才以上女) 高橋栄子(小学男) 猪鼻克憲(小学女) 関 美晴(中学男) 浅野大志(中学女) 山田由香(親子) 権田典子・竜之介

### ■シルバー受賞者(80才以上)

杉田作三・武田隆治・間 三吉・

粕谷武男・木村正紀・宮崎義信・岡田健次・猪鼻壽之・奥富 勇・佐藤十五郎・谷村ますみ・佐藤千代・石川ミネ 以上敬称略

## 第27回市民駅伝大会



一斉にスタート!

12月13日(日)川越運動公園陸上競技場に、中学、高校、一般の男女計55チームが参加して行われ、各種種目に熱走が見られました。

この大会は、駅伝愛好者の方が気軽に参加できるように、区間、距離等を設定しています。駅伝競走は、団体競技としての妙味があり、コミュニケーションの場としても格好です。各種目、一チーム5名の編成で実施しています。

### ■各種目優勝チーム

(中学男子) 東中A・(中学女子)

東中A・(高校男子) 城西川越高・(高校女子) 川越南高・(一般A) 新ランナース・(一般B) うしろぐちRC・(一般女子) SHAK E・HANDSも

## 第26回市民ロードレース大会 第23回スポーツ少年団 新春マラソン大会

1月17日(日)、川越運動公園陸上競技場に、ロードレース13種目、スポ少11種目、一、二二八名の参加者を得て盛大に行われました。



見事にゴールイン!

## 平成11年度予定日

・ウォークソン大会	11・3
・市民駅伝競走大会	12・12
・市民ロードレース	1・16
・スポ少マラソン	

参加をお待ちしています!



# 弓道連盟

川越市弓道連盟は、昭和二十五年に結成され、同時に川越市体育協会に加盟した五十年近い歴史を持つ団体であります。設立当初十名程度の会員数は、平成十年現在約一三〇名を数えるほどに成長しました。その間の川越市体育協会並びに諸先輩のご指導、ご尽力に深く感謝いたします。

例年実施している主な行事は、市内高校王座決定戦、市武道大会、市民体育祭弓道の部などの大会、月例射会、弓道教室、講習会、会員相互の親睦と研修を兼ねた一泊二日の合宿などがあります。

川越市施設管理公社主催の弓道教室は、春から夏にかけ毎週土曜日の夕方十回実施し、弓道に全くの初心者を対象に行われます。約三十名の教室生のうち、例年十名ほどが連盟に入会し弓道を続けます。また、連盟主催の婦人弓道教室は、同じく春から夏にかけて毎週木曜日午前十回で婦人を対象に行われ、こちらも人気があります。

道場は、川越武道館、川越運動公園総合体育館弓道場の二箇所にあります。近隣の市町村から見れば極めて恵まれた環境にあります。初



心のうちの矢数稽古、他の人の射を見て学ぶ見取り稽古、射技や体配を磨く工夫稽古と、会員はそれぞれの段位に応じた稽古を行います。

近年「生涯スポーツ」の声がよく聞かれますが弓道は若い方から高齢の方までそれぞれの体力・骨格に応じてできる他のスポーツに見られない特徴を持つ武道であります。

最近、川越市弓道連盟のインターネットホームページを開設しました。パソコンをお持ちの方、ぜひご覧ください。

## 団体だより

# 少林寺拳法協会

東洋大学工学部のクラブ活動（昭和四十年）から始められた川越市の少林寺拳法の活動はその後、川越支部、東京国際大学支部と設立され、現在九支部に発展してきました。

昭和四十七年頃から、市体育協会加盟の手続き書類を提出していたが、昭和五十三年には加盟させていただいた。以後、先輩諸団体と行事等の行動を共にさせていただき、大変嬉しく思っている。

少林寺拳法の名称は、広く海外にまで知られるようになってきたが、その内容は、国内の人たちにも一部分しか知られていない。

その起源は、昭和二十一年敗戦後、中国より帰国した「宗道臣開祖」による。

多くの都市は焼かれ、人々の心まで荒れ果てた状態を見た開祖は、これからの青少年に「自信と勇氣と行動力」を身につけさせ、逞しく人生を送れるようにこの道を創始され、教えられた。その教えは、

一、拳法の演練により、護身の技術を身につけさせながら、身心の健全な発達を促進させる。

二、互いに技をかけ合う中で、相手の向上をも願う広い心と自己を律する強い意志力を養う。

三、正坐法、調息法により、体の内部から整え、怒り、怖れ、悲しみの時にも平常の心を保つようにする。

四、人間としての生き方の指針となる訓えを毎回言うことにより自らの生き方を信念化していく。

更に、毎年五月には、全国一斉にボランティアをやっている。市内の各支部においても、空カン拾い、近くの学校の除草作業などを行っている。

これからも、他の加盟団体の方々と共に協調し、行動し、発展していけることを念願している。

## 埼玉体育賞受賞者

◎功労賞

・吉澤 操氏（体育協会推薦）

「受賞、おめでとうございます。」  
県民総合体育大会の市町村対抗は今年度から廃止となりました。

## スポーツ少年団の主な行事

◎体力テスト会

・期日 五月十七・二十四日

・会場 市民体育館他三会場

・参加 一五〇八名

◎体育祭

・期日 九月十五日

・会場 総合体育館

・参加 一二五八名

## 婦人スポーツ団体の主な行事

◎集い「講演会」

・期日 六月二十八日

・会場 市民体育館

・参加 三六〇名

◎フェスティバル

・期日 二月二十日

・会場 総合体育館

・参加 一八四名

## 編集後記

版を大きくし、読みやすい紙面を目指しました。

また、お忙しい中にもかかわらず、快くご寄稿くださいました皆様、厚くお礼申し上げます。

